

平成29年度 科学研究費助成事業（特別推進研究）  
追跡評価結果

課題番号	19002003	研究期間	平成19年度～平成23年度
研究課題名	光子ビームによるクォーク核物理の研究		
研究代表者名	清水 肇	研究期間終了時の所属・職	東北大学・電子光物理学研究センター・教授
		現在の所属・職	東北大学・電子光物理学研究センター・教授

**【評価意見】**

東日本大震災により実験が大幅に遅れたため、本研究の当初の研究目的であったペンタクォークに関しては、既に別の研究組織により研究成果が得られた。しかし、本研究においてバリオン共鳴の詳細なデータなど新しい知見が得られ、一定の学術的な研究成果があった。

研究期間終了後、本研究で建設された大型検出器 BGOegg は SPring-8 で利用され、量子色力学（QCD）の真空の解明など、今後重要な研究成果が得られることが期待されている。また、光とハドロンを結びつけたユニークな研究で、フラッグシップの役割を果たした点も評価に価する。

人材育成に関しては、若手研究者が活躍しており、人材育成の観点からも十分な成果が得られている。